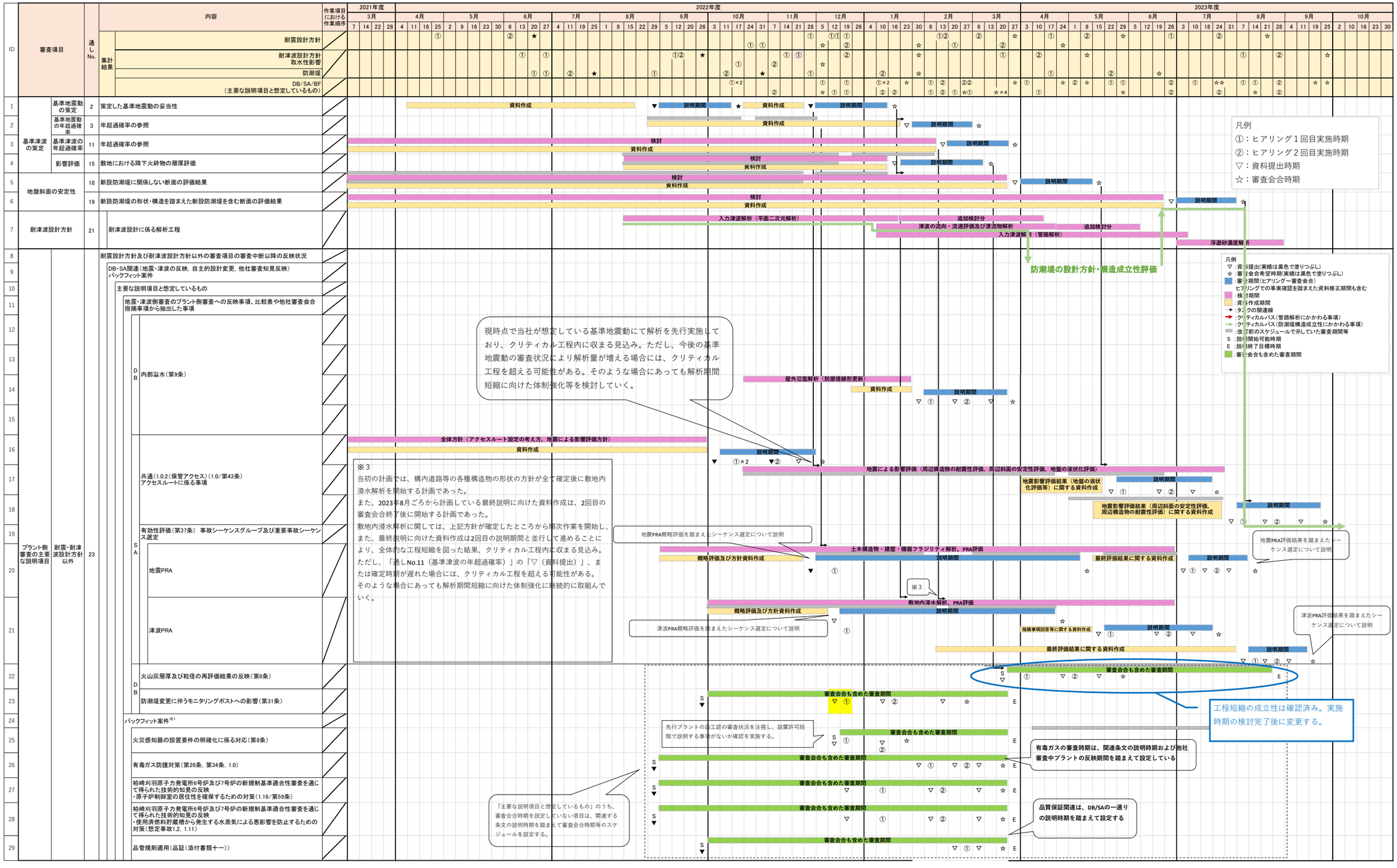
資料２

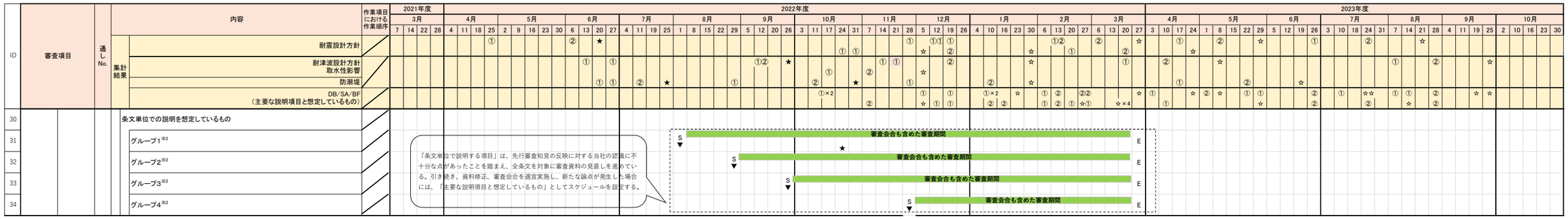
2022年12月5日
北海道電力株式会社

# 泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール



# 泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月5日
北海道電力株式会社




※1
■バックフィットに係る審査スケジュールは、プラント側の関連する審査項目の確認を踏まえたスケジュールとする。
■以下のバックフィット案件のスケジュールについては各条文のスケジュールの中に含む。
・「地震時の燃料被覆材の放射性物質の閉じ込め機能に係る措置（第4条)」については耐震設計方針
・「溢水による放射性物質を含んだ液体の管理区域外漏えい防止対策（第9条）」については内部溢水（第9条）
■なお、本スケジュールに記載のないバックフィット案件については、設工認等で説明予定。

※2【グループ１】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・不法な侵入（第7条）
・誤操作の防止（第10条）
・安全避難通路（第11条）
・安全施設（第12条）
・［追而あり_2023年1月］全交流電源喪失（第14条）
・［追而あり］RCPB（第17条）
・安全保護回路（第24条）
・［追而あり_2023年1月］保安電源（第33条）

※2【グループ２】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。また、解消時期の「＊」は「2023年1月（アクセスルートの変更反映）」を示す。

・外部事象（第6条）竜巻に対する設計方針
・［追而あり］外部事象（第6条）火山事象に対する設計方針（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり_2023年1月］外部事象（第6条）外部火災に対する設計方針
・［追而あり_2023年3月］外部事象（第6条）その他自然現象等に対する設計方針
・［追而あり_2023年2月等］内部溢水（第9条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり_2022年12月］SFP（第16条）
・［追而あり］原子炉制御室（第26条）
・［追而あり］緊急時対策所（第34条）
・有効性評価（第37条）CV温度圧力
・有効性評価（第37条）炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）炉心　全交流動力電源喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）炉心　原子炉補機冷却機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉停止機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS注水機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS再循環機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）
・［追而あり_2023年3月等］有効性評価（第37条）CV　過圧破損
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）CV　過温破損
・有効性評価（第37条）CV　DCH
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）CV　FCI
・有効性評価（第37条）CV　水素燃焼
・有効性評価（第37条）CV　MCCI
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故１
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故２
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）停止時　崩壊熱除去機能喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）停止時　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）停止時　原子炉冷却材の流出
・有効性評価（第37条）停止時　反応度誤投入
・［追而あり_＊］共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（第43条）
・ATWS（1.1/第44条）
・高圧時冷却（1.2/第45条）
・減圧（1.3/第46条）
・［追而あり_＊］低圧時冷却（1.4/第47条）
・［追而あり_＊］最終ヒートシンク（1.5/第48条）
・［追而あり_＊］CV冷却（1.6/第49条）
・［追而あり_2023年3月等］CV過圧破損防止（1.7/第50条）
・CV下部注水（1.8/第51条）
・［追而あり_＊］CV水素対策（1.9/第52条）
・RB水素対策（1.10/第53条）
・［追而あり_2023年3月］SFP（1.11/第54条）
・［追而あり_＊］放射性物質の拡散抑制（1.12/第55条）
・［追而あり_2023年3月等］水源（1.13/第56条）
・［追而あり_＊］電源（1.14/第57条）
・計装（1.15/第58条）
・［追而あり_2023年3月］原子炉制御室（1.16/第59条）
・［追而あり_＊］緊急時対策所（1.18/第61条）

※2【グループ３】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・［追而あり_2023年2月］内部火災（第8条）
・監視設備（第31条)　（上記スケジュール記載部分を除く）
・通信連絡設備（第35条）
・［追而あり_2023年2月］火災（第41条）
・［追而あり_2023年3月等］共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（1.0）
・［追而あり_2023年3月］監視測定（1.17/第60条）
・通信連絡（1.19/第62条）
・技術的能力（添付書類五）

※2【グループ４】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・［追而あり_2023年3月］有効性評価（第37条）事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり_2023年3月］大規模損壊（2.1）

# 泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月5日
北海道電力株式会社

| ID | 内容 | | | 作業項目における作業順序 |
|---|---|---|---|---|
| | 集計結果 | | 耐震設計方針 | |
| | | | 耐津波設計方針<br>取水性影響 | |
| | | | 防潮堤 | |
| | | | DB/SA/BF<br>（主要な説明項目と想定しているもの） | |
| 1 | | | 耐震設計方針（第4条，第39条）<br>※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む | 4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず |
| 2 | | | 【BF】地震時の燃料被覆管の放射性物質の閉じ込め機能の維持 | 4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず |
| 3 | | | 【BF】地震時の動的機能維持評価 | 4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず |
| 4 | | | 耐津波設計方針（第5条，第40条） | 5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず |
| 5 | | | 防潮堤 | 5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず |
| 6 | | 外部事象（第6条） | ・竜巻に対する設計方針 | |
| 7 | | | ・火山事象に対する設計方針 | |
| 8 | | | 【BF】降下火砕物の影響評価 | BFの対応は，「外部事象（第6条）_火山事象に対する設計方針」の審査に含めて説明する |
| 9 | | | ・外部火災に対する設計方針 | |
| 10 | | | ・その他自然現象等に対する設計方針 | |
| 11 | | | 不法な侵入（第7条） | |
| 12 | | | 内部火災（第8条） | |
| 13 | | | 【BF】火災感知器の設置要件等に関する関係審査基準の改正 | BFの対応は，「内部火災（第8条）」の審査に含めて説明する |
| 14 | | | 内部溢水（第9条） | |
| 15 | | | 【BF】内部溢水による管理区域外への漏えいの防止 | BFの対応は，「内部溢水（第9条）」の審査に含めて説明する |
| 16 | D | | 誤操作の防止（第10条） | |
| 17 | B | | 安全避難通路（第11条） | |
| 18 | | | 安全施設（第12条） | |
| 19 | | | 全交流電源喪失（第14条） | |
| 20 | | | SFP（第16条） | |
| 21 | | | RCPB（第17条） | |
| 22 | | | 安全保護回路（第24条） | |
| 23 | | | 原子炉制御室（第26条） | |
| 24 | | | 監視設備（第31条） | |
| 25 | | | 保安電源（第33条） | |
| 26 | | | 緊急時対策所（第34条） | |
| 27 | | | 通信連絡設備（第35条） | |
| 28 | | | 【BF】有毒ガス | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 29 | SA | 有効性評価（第37条） PRA | Lv 1 | |
| 30 | | | Lv 1.5 | |
| 31 | | | 停止時 | |
| 32 | | | 地震 | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 33 | | | 津波 | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 34 | | | 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス | |
| 35 | | | 解析コード | PWR合同で審査を実施しているが、最新知見の反映に関する対応は「有効性評価（第37条）」の審査に含めて説明する |

2022年度：7月 4 11 19 25 ／ 8月 1 8 15 22 29 ／ 9月 5 12 20 26 ／ 10月 3 11 17 24 31 ／ 11月 7 14 21 28 ／ 12月 5 12 19 26 ／ 1月 4 10 16 23 30 ／ 2月 6 13 20 27 ／ 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 ／ 5月 1 8 15 22 29 ／ 6月 5 12 19 26 ／ 7月 3 10 18 24 31 ／ 8月 7 14 21 28 ／ 9月 4 11 19 25 ／ 10月 2 10 16 23 30

【第6条、8条、9条、41条の補足】
a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）
b：基本方針（本文、添付八）
c：別添、補足

「▽」は、②と☆を兼ねた資料提出とする

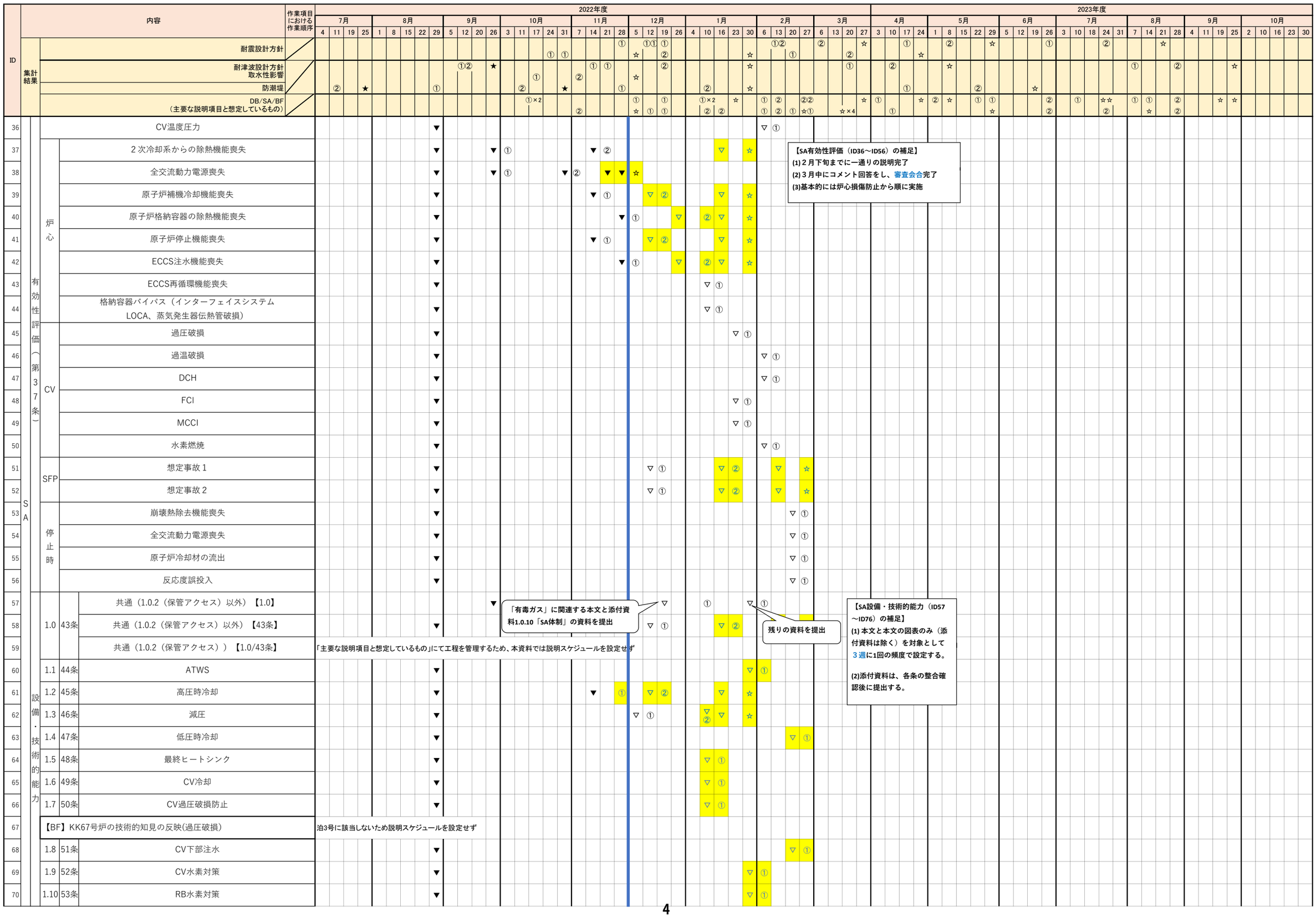
凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

黄色網掛け、青字は、前回説明時からの変更箇所を示す。

# 泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月5日
北海道電力株式会社

| ID | 内容 | | | | 作業項目における作業順序 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 集計結果 | | | 耐震設計方針 | |
| | | | | 耐津波設計方針<br>取水性影響<br>防潮堤 | |
| | | | | DB/SA/BF<br>（主要な説明項目と想定しているもの） | |
| 36 | 有効性評価（第37条） | SA | 炉心 | CV温度圧力 | ▼ |
| 37 | | | | ２次冷却系からの除熱機能喪失 | ▼ |
| 38 | | | | 全交流動力電源喪失 | ▼ |
| 39 | | | | 原子炉補機冷却機能喪失 | ▼ |
| 40 | | | | 原子炉格納容器の除熱機能喪失 | ▼ |
| 41 | | | | 原子炉停止機能喪失 | ▼ |
| 42 | | | | ECCS注水機能喪失 | ▼ |
| 43 | | | | ECCS再循環機能喪失 | ▼ |
| 44 | | | | 格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損） | ▼ |
| 45 | | | CV | 過圧破損 | ▼ |
| 46 | | | | 過温破損 | ▼ |
| 47 | | | | DCH | ▼ |
| 48 | | | | FCI | ▼ |
| 49 | | | | MCCI | ▼ |
| 50 | | | | 水素燃焼 | ▼ |
| 51 | | | SFP | 想定事故１ | ▼ |
| 52 | | | | 想定事故２ | ▼ |
| 53 | | | 停止時 | 崩壊熱除去機能喪失 | ▼ |
| 54 | | | | 全交流動力電源喪失 | ▼ |
| 55 | | | | 原子炉冷却材の流出 | ▼ |
| 56 | | | | 反応度誤投入 | ▼ |
| 57 | | 設備・技術的能力 | 1.0 43条 | 共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】 | ▼ |
| 58 | | | | 共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】 | ▼ |
| 59 | | | | 共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】 | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 60 | | | 1.1 44条 | ATWS | ▼ |
| 61 | | | 1.2 45条 | 高圧時冷却 | ▼ |
| 62 | | | 1.3 46条 | 減圧 | ▼ |
| 63 | | | 1.4 47条 | 低圧時冷却 | ▼ |
| 64 | | | 1.5 48条 | 最終ヒートシンク | ▼ |
| 65 | | | 1.6 49条 | CV冷却 | ▼ |
| 66 | | | 1.7 50条 | CV過圧破損防止 | ▼ |
| 67 | | | | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損) | 泊3号に該当しないため説明スケジュールを設定せず |
| 68 | | | 1.8 51条 | CV下部注水 | ▼ |
| 69 | | | 1.9 52条 | CV水素対策 | ▼ |
| 70 | | | 1.10 53条 | RB水素対策 | ▼ |



# 泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月5日
北海道電力株式会社

| ID | 内容 | | | | 作業項目における作業順序 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 集計結果 | | | 耐震設計方針 | |
| | | | | 耐津波設計方針<br>取水性影響<br>防潮堤 | |
| | | | | DB/SA/BF<br>（主要な説明項目と想定しているもの） | |
| 71 | SA | 設備・技術的能力 | 1.11 | 54条 SFP | |
| 72 | | | | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響) | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 73 | | | 1.12 | 55条 放射性物質の拡散抑制 | |
| 74 | | | 1.13 | 56条 水源 | |
| 75 | | | 1.14 | 57条 電源 | |
| 76 | | | 1.15 | 58条 計装 | |
| 77 | | | 1.16 | 59条 原子炉制御室 | |
| 78 | | | | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性) | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |
| 79 | | | 1.17 | 60条 監視測定 | |
| 80 | | | 1.18 | 61条 緊急時対策所 | |
| 81 | | | 1.19 | 62条 通信連絡 | |
| 82 | | | 2.1 | － 大規模損壊 | |
| 83 | | 共通 | | 地質（第38条） | DB側に同じ |
| 84 | | | | 地震動（第38,39条） | DB側に同じ |
| 85 | | | | 津波（第40条） | DB側に同じ |
| 86 | | | | 火災（第41条） | |
| 87 | | | | 技術的能力（添付書類五） | |
| 88 | | | | 品証（添付書類十一） | 「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず |

2022年度：7月 4 11 19 25 ／ 8月 1 8 15 22 29 ／ 9月 5 12 20 26 ／ 10月 3 11 17 24 31 ／ 11月 7 14 21 28 ／ 12月 5 12 19 26 ／ 1月 4 10 16 23 30 ／ 2月 6 13 20 27 ／ 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 ／ 5月 1 8 15 22 29 ／ 6月 5 12 19 26 ／ 7月 3 10 18 24 31 ／ 8月 7 14 21 28 ／ 9月 4 11 19 25 ／ 10月 2 10 16 23 30

**【第6条、8条、9条、41条の補足】**
**ａ：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）**
**ｂ：基本方針（本文、添付八）**
**ｃ：別添、補足**

**「▽」は、②と☆を兼ねた資料提出とする**

**品質保証関連を一部含むことから、DB/SAの一通りの説明時期を踏まえて設定する**